

平成 28 年 1 月 19 日
商 工 中 金

「地域中核企業支援貸付制度」適用 米糠から安全で食味が向上する業務用炊飯油を開発して事業化を目指す 食協株式会社を金融面からサポート！

商工中金は、平成 27 年 4 月に「地域中核企業支援貸付」を創設しています。この制度は、地域中核企業が収益力向上のために行う新事業進出や事業再編等を民間金融機関と協調して後押しし、地域の関連企業等への波及により地域経済全体の活性化を目指すものです。

商工中金（広島支店）は、同制度を活用し、食協株式会社（本社：広島県広島市、代表者：榎野 利房氏）に対し、地域金融機関と協調して、米糠を活用した業務用炊飯油の開発・実用化に必要な資金 2 億円を融資しました。

食協株式会社は、県内最大規模の米穀卸売業者として広島県内に大型精米工場を有し、米や食品などの商品を、地元企業をはじめとした全国各地から仕入れ、中四国一体に販売する地域に密着した企業です。

同社では、鹿児島大学、県立広島大学、広島県立総合研究所食品工業技術センターと共同して、精米の過程で発生する米糠から安全で食味が向上する業務用炊飯油の開発を進めています。業務用炊飯油は、大型炊飯工場で一般的に炊飯の際に使用される食油で、この新素材が実用化されれば、従来の炊飯油に比べて、使用する油脂を大幅に減らすことができ、他の食品関連企業にも大きなメリットをもたらすことが期待されています。この事業は、経済産業省の「平成 27 年度戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)」にも採択されており、今回、実用化に向けて事業計画を策定しました。

商工中金は、この計画を地域経済への波及効果や雇用拡大に貢献するものと高く評価し、地域金融機関と協調して、産学官金が連携した新事業立ち上げにかかる必要資金を融資しました。

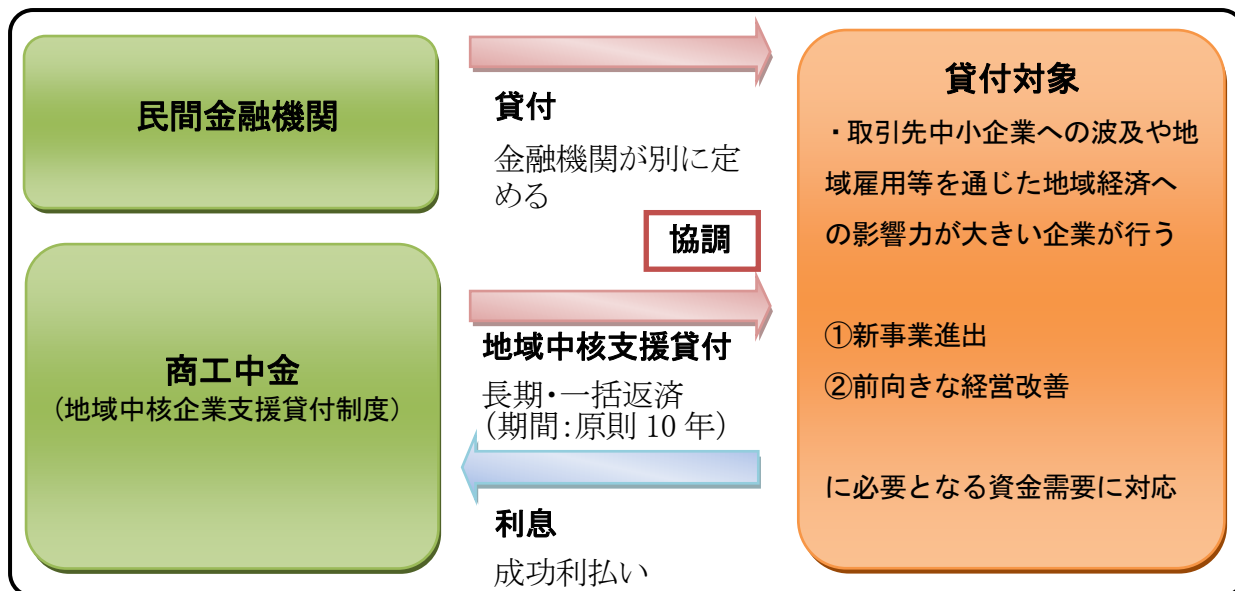
これからも商工中金は、同制度の活用を通じて、直接融資のみならず、経営課題に対するさまざまなソリューションや情報提供を行い、支援対象企業を核とした地域への波及効果の高い取組みを通じて地域経済の活性化へ貢献してまいります。

【食協株式会社の概要】

所在地	広島県広島市南区松川町 5-9	資本金	1 億円
代表者	榎野 利房	従業員数	135 名（平成 27 年 12 月現在）
業種	米穀卸売業	設立	平成 3 年 8 月

【地域中核企業支援貸付制度】

1. スキーム概要



2. 貸付制度の概要

○貸付条件

貸出形式	証書貸付
限度額	5億円
償還方法	期限一時返済
利率	成功の場合は当金庫所定の利率、不成功の場合0.6%
貸付期間	原則10年

○利率（成功判定）

- ・利率は、事業の成否に応じた変動金利とする。
- ・債務者の直近決算の経常損益が赤字の場合は0.6%、黒字の場合は商工中金所定の利率とする。
- ・なお、黒字の場合であっても、新事業計画の場合は、当該計画の売上、経営改善計画の場合は、当該計画の経常損益それぞれに対する達成率が一定未満の場合は0.6%とする。